

● 文献リスト

このコーナーでは、日本で発表される水草に関する文献をリストアップしていきます。将来的にも役に立つ資料とすべく、できるだけ幅広く拾ってみたいと思っています。何分にも私の目にふれたものだけですから、かなり落ちているものと思います。御教示いただければ追加していきます。

今回はとりあえず、ここ5年分(1976~1980)をまとめてみました。それ以前のは、またテーマ別に紹介する機会があればと思います。なお、Plant & Cell Physiology (植物生理学会誌)には、ここ5年分だけでもウキクサ類の開花、栄養生理を中心に約40編の論文が出ていますが、これは省きました。また、水田雑草に関するものも原則として載せておりません(理由:数が多すぎる)。これらについては、詳しい方に最近の動向などととも解説していただければと思っています。(角野)

<1976>

- 生嶋 功・大滝末男 水生植物に与える都市化の影響
特定研「都市生態系の構造と動態に関する研究」(沼田 真編): 129-134.
- 伊藤 洋 ヒメミズニラの基準標準らしいもの
植研, 51: 70
- 江島龍也 佐賀平野の「堀の植生」について
佐賀東高校紀要 No.13: 1-26.
- 大塚昌宏 うずま川の水草 採集と飼育38(10):
323-325・334.
- 角野康郎 イトクズモとイトイバラモ 釧路博物館報
No.240・241: 177-178.
- 小杉 高・稲田哲夫 綿打池の湿地植物 フィールド
研究会会報(富山県高等学校教育研究会生物
部会) No.2: 36-40.
- 芝山秀次郎・江口末馬・宮原益次 筑後川下流域水田
地帯のクリークにおける水生雑草の実態 第一
報 雑草の種類 雑草研究 21: 112-115.
- 同, 第二報 分布および出現率 雑草研究
21: 115-119.
- 同, 第三報 雑草の繁茂量 雑草研究 21:
120-125.
- 谷水久利雄・三浦泰蔵 びわ湖における沈水植物群集
に関する研究 I 南湖における侵入種オオ
カナダモの分布と生産能 生理生態 17:
283-290.
- 豊田清修, 神奈川で開花した行田ハスの形態 植物と
自然 10(9): 24-25.
- 永井かな 琵琶湖の水生高等植物実態調査報告 「琵琶
湖生物調査報告書(第3報)」(淡水生物研
究所): 105-136.
- 中西克爾 水生高等植物の細胞・組織学的研究 第一
報 水生被子植物18種の気孔の分布について
桐朋学報 No.26: 159-166.
- 馬場胤義・江島龍也 佐賀市とその周辺の水生植物観
察記, 佐賀の植物 11(1): 19-25.
- 馬場義仲 猪苗代湖産水生植物群落の研究 会津生物
同好会誌 No.14: 21-35.
- 猪苗代湖に産する沈水性蘚苔類四種類につ
いて 福島生物 No.19: 25-26.
- 浜島繁隆 愛知県・尾張地方の小湿原の植生(I).
植物と自然 10(5): 22-26.
- 濃尾平野における農業用水路 溜め池の大
型水生植物とその動態 特定研「人間生存と
自然環境」肥料による陸水の汚濁と指標植物
: 99-102.
- 平井 屯 コカナダモの分布についての一考察 エヒ
メアヤメ No.25: 1-8.
- 百瀬忠征 実験観察材料としてのオオカナダモ(1).
遺伝 30(2): 72-77.
- 同(2). 遺伝 30(3): 73-79.
- Miyahara, M., H. Shibayama & S. Eguchi.
Aquatic weeds in creeks of the paddy
area on the coast of Ariake Sea in
Kyushu Island. Proc. 5-th Asian-Pacific
Weed Sci. Soc. Conf. 420-423.
- Suge, H. Ethylene and carbon dioxide as
factors regulating initial growth and
development in several perennial

- aquatic weeds. Proc. 5-th Asian - Pacific Weed Sci. Soc. Conf. 46-49.
- Ueki, K. & Y. Oki. Waterhyacinth and its habitats in Japan. Proc. 5-th Asian Pacific Weed Sci. Soc. Conf. 424-428.
- Yamashita, T. Über die Embryo- und Wurzelentwicklung bei *Aponogeton madagascariensis* (Mirbel) van Bruggen. Journ. Fac. Sci. Univ. Tokyo III 12 : 37-64.
- Über die Pollenbildung bei *Halodule pinifolia* und *H. uninervis*. Beitr. Biol. Pflanzen 52 : 217-226.
- Yukawa, I. & A. Takimoto. Flowering response of *Lemna paucicostata* in Japan. Bot. Mag. 89 : 241-250.
- <1977>
- 今村駿一郎 カワゴケソウ科の植物 — その保護の必要 — 植物と自然 11 (2) : 9-13.
- 薄葉 満 ヒメタヌキモ採集記 福島生物 No.20 : 37-40.
- 大滝末男 水草の冬越 植物と自然 11 (3) : 15-20.
- オオイチョウバイカモを北軽井沢で見る 植物と自然 11 (8) : 18.
- 大型水生植物 「多摩川の生物相と水質汚濁の現況(その2)」(建設省関東地方建設局京浜工事事務所) : 203-229.
- 大型水生植物から見た自浄作用の推定 同上 : 363-370.
- 大型水生植物相, 同上(その3) : 75-92.
- 尾崎富衛 新潟沖積平野の形成・変遷と沼沢植生の消長 新潟の自然 第3集 : 127-138.
- 小宮定志 羽入市ムジナモ保護増殖事業の発足とその内容 食虫植物研究会誌 No.81 : 1-3.
- 達山和紀・江川 宏・山岸建文 ホテイアオイによる重金属の取着について 雑草研究 22 : 27-32.
- 中西克爾 水生被子植物の気孔の形態と分布 植物と自然 11 (5) : 6-10.
- 野口達也 ツクシオオガヤツリを茨城県で発見 北陸の植物 24 (4) : 90-91.
- 馬場胤義 佐賀県下に帰化した水草 佐賀の植物 12 (1) : 18-20.
- 浜島繁隆 ため池の植生 植物と自然11 (7) : 7-10.
- ため池の水草 — その特性と観察 — 植物と自然 11 (9) : 19-23.
- ため池の水草 — その芽ばえの観察 — 植物と自然 11 (10) : 19-21.
- 濃尾平野の大型水生植物とその生態 愛知県私学研究集録 No.11 : 142-148.
- 東海地方のため池とその植生 地域社会 1 (1) : 66-76.
- 浜島繁隆・田中啓文・谷田沢道彦 東海近畿地方のため池の水質と大型水生植物 特定研「人間生存と自然環境」肥料による陸水の汚濁と指標植物 II : 39-45.
- Kimura, C. Floristic and distributional surveys of submerged vascular plants in two shallow lakes of Aomori Prefecture, Lake Obuchi and Lake Takahoko. Ecol. Rev. 18 : 263-279.
- Momose, T., K. Abe & K. Yoshitama 5-O-Methylcyanidin 3-Glucoside from leaves of *Egeria densa*. Phytochemistry 16 : 1321.
- <1978>
- 稲田哲夫 金山丘陵の湿地植物 フィールド研究会報 No.3 : 44-53.
- 薄葉 満 日沼の植物 福島生物 No.21 : 11-16.
- 大滝末男 カワツルモを長尾岬に見る 植物と自然 12 (3) : 24.
- 沖 陽子・伊藤操子・植木邦和 ホテイアオイ (*Eichhornia crassipes* (Mart.) Solms) の生殖及び繁殖に関する研究 第一報 水中の栄養塩が生育及び繁殖に与える影響 雑草研究 23 : 115-120.
- 同, 第二報 水中の窒素形態の差異が生育ならびに繁殖に及ぼす影響 雑草研究 23 : 120-125.
- 角野康郎 関西地方のヒルムシロ属 (1), (2) Nature Study 24 : 38-40, 55-57.
- 国井秀伸 与田浦の水質と生物に関する予報 千葉大臨海研報告 10 : 23-28.
- 小宮定志 ムジナモ増殖計画の進行状況と今後の計画

- について 食虫植物研究会誌 No.86: 6-8.
- 芝山秀次郎・宮原益次 筑後川下流域水田地帯のクリークにおける水生雑草の実態 第4報 雑草繁茂量の時期別変遷 雑草研究 23:109-115.
- 小路登一 富山県における水生植物 「富山県の陸水生物」(富山県): 29-70.
- 豊田清修 ハスの通気組織と呼吸 植物と自然 12(11): 30-32.
- 成田昌信 ガマと私 植物と自然 12(3): 20-24.
- 浜島繁隆 アオウキクサ属3種の種子発芽 植研 53: 28-31.
- ミジンコウキクサの花 植研 53: 62.
- ため池の水草調査. 1. 津軽, 秋田のため池 植物と自然 12(6): 10-13.
- 同 2. 静岡, 愛知のため池 植物と自然 12(13): 16-18・26.
- 水辺の植物 —ため池の水草— 理数, 高理編(啓林館) 1月号 (No.133): 4-7.
- 百瀬忠征 実験観察材料としてのオオカナダモ(3), —オオカナダモのアントシアニン— 遺伝 32(9): 73-78.
- オオカナダモの高校生物実験への応用(続I) —オオカナダモの生長について— 都生研会誌 No.14: 27-29, 31-32.
- ◎ 植物と自然 8月号 特集 ハス.
- 長島時子: ハスの分類・形態および生活史(6-12).
- 阪本祐二: 日本のハス・外国のハス(13-19).
- 金塚 正: 食用ハスの栽培・製造(20-23).
- 四宮大典: 検見川のハス(24-26).
- 四宮ウキエ: ハス料理と活花(22-28).
- 酒詰明光: 当麻曼茶羅と印度のハス(29-32).
- 大滝末男: ハスの名所リスト(33-34).
- Harada, I. Y-Geschlechtschromatin in Ruhenkerner der erwachsenen Blattzellen von Meeresphanerogame *Phyllospadix*. Journ. Fac. Sci. Hokkaido Univ., Ser. V(Botany) 11: 231-236.
- Ikusima, I. Primary production and population ecology of the aquatic sedge *Lepironia articulata* in a tropical swamp, Tasek Bera, Malaysia. Aquat. Bot. 4: 269-280.
- Kadono, Y. Effect of oxygen deficit on the photosynthetic and respiratory activities of submerged plants. Jap. J. Ecol. 28: 319-323.
- Komiya, S. & C. Shibata. Distribution of the Droceraceae in Japan. Bull. Nippon Dental Univ., Gen. Educ. No. 7: 169-205.
- Sastroutomo, S. S., I. Ikusima & M. Numata Ecological studies of waterhyacinth (*Eichhornia crassipes* Mart. Solms) with special emphasis on their growth. Jap. J. Ecol. 28: 191-197.
- <1979>
- 岡武三郎・富久保男・中野幸彦 水田の新しい帰化雑草 *Heteranthera limosa* について 雑草研究 24: 113-116.
- 金井弘夫 オゼコウホネの種子散布 植研 54: 27-29.
- 神田房行・新庄久志 シラルトロ湖のマリモ生育地の水草 『茅沼遺跡群』(標茶町教育委員会): 161-163.
- 柴岡孝雄 タヌキモとムジナモ 自然 1月号: 72-81.
- 芝山秀次郎 筑後川およびその支川におけるホテイアアイの分布 雑草研究 24: 92-95.
- 志村義雄・名倉智道 ミズニラの季節型 採集と飼育 41(3): 140-141.
- 菅 洋 水生雑草の系統発生的適応 <化学的生態学への一つの試み> 雑草研究 24: 1-6.
- 瀬戸昌之・高橋義明・中島忠広・田崎忠良 カドミウムによる *Lemna gibba* の黄化枯死と栄養塩類の濃度との関係 陸水雑 40: 61-65.
- 達山和紀・江川 宏・山本広基・中村美弥子 ホテイアオイによる重金属の収着について—収着に影響を及ぼす二・三の要因— 雑草研究 24: 260-263.
- 浜島繁隆 ガガバタの二型花と集団内の有効な交配について 植研 54: 319-320.
- 益村 聖 筑後平野南部の堀に見られる植物群落 福岡の植物 第5号: 1-12.
- 矢野悟道 ミズバショウの新産地について 植研 54: 31-32.
- ◎ 植物と自然 臨時増刊 13(12), 特集 湿原の植物

- Kobayashi, H. & K. Ueki. Variation in Photo-periodic tuber formation in *Eleocharis kuroguwai* (Cyperaceae). Mem. Coll. Agri., Kyoto Univ., No. 113 : 67-80.
- Mukai, H., K. Aioi, I. Koike, H. Iizumi, M. Ohtsu & A. Hattori. Growth and organic production of eelgrass (*Zostera marina* L.) in temperate waters of the Pacific coast of Japan. I. Growth analysis in spring-summer. Aquat. Bot. 7 : 47-56.
- Sastroutomo, S. S., I. Ikusima, M. Numata & S. Iizumi. The importance of turions in the propagation of pondweed (*Potamogeton crispus* L.). Ecol. Rev. 19 : 75-88.
- Shibasaki, T. & Y. Oda. Heterogeneity of dormancy in the turions of *Spirodela polyrhiza*. Plant & Cell Physiol. 20 : 563-571.
- Yamasaki, S. & T. Saeki. The effects of the oxygen supply from the shoot on *Zizania latifolia* growth. Jap. J. Ecol. 29 : 249-256.
- <1980>
- 薄葉 満 福島県浜通り地方の食虫植物 食虫植物研究会誌 No.92 : 1-10.
- 大滝末男 アサザの二型花と開花現象について レポート日本の植物 No.5 : 44.
- 岡島一允 日本南限地のミズバショウ 植物と自然 14(8) : 35.
- 金井弘夫 尾瀬ヶ原の池塘番号と水生植物の分布状況 「尾瀬ヶ原及び周辺地域の総合的調査研究」(総研報告書) : 69-75.
- 神田房行・角野康郎・大滝末男 釧路湿原の3湖沼の水草について 植研 55 : 16-19.
- 小宮定志 日本産タヌキモ科植物の学名について 食虫植物研究会誌 No.91 : 10-17.
- 桜井善雄 1979年の諏訪湖における水生植物フロラ 諏訪湖集水域生態系研究報告(文部省環境科学特別研究)第5号 : 65-69.
- 豊田清修 ハスの実の生死および概略年数を判定する法 植物と自然 14(10) : 29-31.
- 生長に伴うハスの葉の形態 植物と自然 14(1) : 31-33.
- 中川盛四郎 滅びゆくオグラコウホネ 植物と自然 14(3) : 31.
- 成田和樹 津軽のため池 —ため池の植生— 植物と自然 14(10) : 32-33.
- 浜島繁隆 池沼・湿原の天然記念物 植物と自然 14(7) : 29-34.
- 平井 屯 自然度2の都市近郊農村地帯における植物の分布 1. コカナダモの分布拡大 エヒメアヤマ No.28 : 1-14.
- 古里和夫 湿原植物の栽培管理 植物と自然 14(8) : 34-35.
- (次号につづく)

短報

○信州のエゾノミズタデ(角野康郎)

エゾノミズタデは北海道及び東北地方の一部に分布する両生植物であるが、長野県にも二ヶ所ほど産地が知られている(横内斎「信濃の湖沼」, 1966; 大滝・石戸「日本水生植物図鑑」, 1980)。

今年の7月、そのうちの二ヶ所である飯綱大池に立ち寄った。大規模な築堤工事が行なわれて、池そのものの様子は変わったようだが、エゾノミズタデは今も大群落をなして生育していた。他にオヒルムシロやエゾヒルムシロも生えていて、北方の湖沼と共通する環境をそなえていることが予想できた。

○イヌイトモの第2の産地(角野康郎)

昨年、北海道釧路市でイヌイトモ(*Potamogeton obtusifolius*)を発見し、日本で最初の記録として『植物分類地理』に報告しておいた。ところが、先日室蘭文化女子短大の原松次教授から同定依頼のあったヒルムシロ類の標本の中に、厚岸町産のイヌイトモが入っていて驚いた。日本で2番目の産地ということになる。

この種については植物地理学上、周大西洋要素とする見方と、周極要素とする考え方があり、その分布が注目されていた。北海道や東北地方でもう少し産地が見つかれば、新しい議論を投げかけることになりそうだ。